

もも・ネクタリン特報



J A 中野市営農センター
J A 中野市りんご・もも部会

せん孔細菌病の葉病斑や夏型枝病斑が散見されております。特に、今後は台風襲来等による風雨で落葉と感染が同時に起こり、次年度への越冬菌が増加します。秋季ボルドー散布は原則として風雨（台風襲来等）の前に実施し、越冬菌密度を減らすよう努めましょう。

【せん孔細菌病対策 ボルドー液 散布日目安】 ＊発生園は、最低 2 回散布しましょう。

多発園は 9 月上旬～ 1 0 月上旬に 3 回。 散布間隔は 1 4 日以内を厳守してください。

散布時期 散布品種	第 1 回 ボルドー散布	第 2 回 ボルドー散布	第 3 回 ボルドー散布
・ 早生種～中生種 ・ 晩生種(川白、黄金桃など)	収穫終了後(9 月上旬～中旬)	第 1 回散布から 1 0 ～ 1 4 日後	第 2 回散布から 1 0 ～ 1 4 日後
・ 極晩生種(白根白桃など)	収穫終了後(9 月中下旬～)	第 1 回散布から 1 0 ～ 1 4 日後	

もも

収穫終了後。下記のいずれかを選択して散布下さい。

ボルドー体系

コサイド 3000 体系

散布時期：9 月上旬～（収穫終了後）

散布薬剤： 水 1 0 0 リットル
アビオン E（固着性展着剤） 1 0 0 ml
I C ボルドー 4 1 2 3. 3 kg
スミチオン乳剤（3 日前、6 回） 1 0 0 ml
（＊スミチオンの加用散布は 1 回目のみとする）

対象病害虫：せん孔細菌病、モモハモグリガ、ナシヒメシンクイ、
ハマキムシ類、カメムシ類

散 布 量：1 0 a 当り 6 0 0 リットル

散布時期：9 月上旬～（収穫終了後）

散布薬剤： 水 1 0 0 リットル
アビオン E（固着性展着剤） 1 0 0 ml
コサイド 3 0 0 0 5 0 g

対象病害虫：せん孔細菌病

散 布 量：1 0 a 当り 6 0 0 リットル

＊コサイド 3000 に代えて、ムッシュボルドー DF の 500 倍
を使用してもよい。

＊薬害の発生が心配される場合は、クレフノンを加用する
（ただし、汚れに注意）

＊害虫対策としてスミチオン乳剤（3 日目、6 回）の 1000 倍
を加用してもよい。ただし、隣接地への飛散（収穫前規
制、農薬汚れ等）に注意する。

【注意事項】

アビオン E に代えて、KK ステッカーの 3000 倍でもよい。

＊KK ステッカーは調合液をよく攪拌させながら必ず最後に加用する。

- ①台風等で強風・降雨が予想される場合は、風雨前の予防散布を徹底する。
- ② I C ボルドー 412 に代えて、4-12 式ボルドー液（生石灰 1200 g、硫酸銅 400 g）でもよい。
- ③コスカシバの発生園は、落葉後に（劇）ラビキラー乳剤 200 倍（休眠期・1 回）を樹幹およ
び主枝にていねいに散布する。

次頁もご覧ください

第 1 回

散布日 月 日
散布量 リットル

第 2 回

散布日 月 日
散布量 リットル

第 3 回

散布日 月 日
散布量 リットル

ネクタリン

収穫終了後。下記のいずれかを選択して散布下さい。

ボルドー体系

コサイド 3000 体系

散布時期：9月上旬～（収穫終了後）

散布薬剤： 水 100ℓ
アビオンE（固着性展着剤） 100ml
I C ボルドー412 3.3kg
劇ダイアジノン水和剤 34（21日前、3回） 100g
（*ダイアジノンの加用散布は1回目のみとする）

対象病害虫：せん孔細菌病、シンクイムシ類、
ハマキムシ類、クワコナカイガラムシ若齢幼虫

散布量：10a 当り 600ℓ

散布時期：9月上旬～（収穫終了後）

散布薬剤： 水 100ℓ
アビオンE（固着性展着剤） 100ml
コサイド3000 50g

対象病害虫：せん孔細菌病

散布量：10a 当り 600ℓ

*コサイド 3000 に代えて、ムッシュボルドーDF の 500 倍を使用してもよい。

*薬害の発生が心配される場合は、クレフノンを加用する（ただし、汚れに注意）

*害虫対策として劇ダイアジノン水和剤 34(21 日前、3 回)を加用してもよい。ただし、隣接地への飛散（収穫前規制、農薬汚れ等）に注意する。

【注意事項】

アビオンEに代えて、KK ステッカーの 3000 倍でもよい。

*KK ステッカーは調合液をよく攪拌させながら必ず最後に加用する。

①台風等で強風・降雨が予想される場合は、風雨前の予防散布を徹底する。

②コスカシバの発生園は、フェニックスフロアブルの 500 倍（開花期まで・1 回）を樹幹および主枝にていねいに散布する。

毒物・劇物をご購入の際は、印鑑をご持参ください

第1回

散布日 月 日

散布量 ℓ

第2回

散布日 月 日

散布量 ℓ

第3回

散布日 月 日

散布量 ℓ

●極晩生種 収穫開始予想

直前の気象条件により前後します。下表を参考に、果実の状況を見て収穫適期を判断しましょう

*樹勢衰弱が見られる場合は、熟期が早まりますので、ご注意ください。

	品種名	南部地区	平岡地区
もも	白根白桃（選抜系）	9／10～	9／12～
	白根白桃（在来系）	9／13～	9／15～
	ゴールデンピーチ	9／18～	9／20～
ネクタリン	秀峰	9／8～	9／10～

*除袋は収穫14日前を目安に終了しましょう。

●降水量が多く灰星病の発生が散見されております。今後、収穫を迎える品種で灰星病の発生が心配される場合は、殺菌剤の特別散布を実施しましょう。（薬剤の選択は、もも・ネクタリン特報No.9の裏面を参照ください）